

# 国立大学法人和歌山大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果

## 1 全体評価

和歌山大学は、「地域を支え、地域に支えられる大学」であるとともに、持続可能な社会の実現に寄与することを目指している。第2期中期目標期間においては、現代学生の、青年期に至る人間形成上の諸課題を深く認識し、教養教育、専門教育によって「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間を育てること等を目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、「観光学部特別研究員」制度の創設や「関西観光教育コンソーシアム」の設立等、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### (機能強化に向けた取組状況)

観光学研究科博士後期課程の設置にあわせ、外部有識者による「観光教育研究アドバイザリーボード」体制を構築したほか、教職大学院の設置に向け、教育学部と和歌山県教育委員会との協働により、新任教員が大学院レベルの高度な研修・研究活動などに取り組む「高度化モデル事業」をスタートさせている。

## 2 項目別評価

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化)

#### 【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載 11 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

#### (2) 財務内容の改善に関する目標

(①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、  
③資産の運用管理の改善)

平成 25 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

- 寄附金募集のパンフレットを刷新し、教育学部及び経済学部の卒業生に対し送付したところ、平成 24 年度に 17 件であった寄附件数が、平成 25 年度は 116 件と大幅に増加し、365 万円の寄附を得ている。

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載7事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

**(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

( ①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進 )

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載6事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

**(4) その他業務運営に関する重要目標**

( ①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守 )

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 障害者差別解消法（平成28年4月施行）の対応準備として、教職員及び学生を対象に「障がいのある学生の修学支援に関する講演会」を開催し、高等教育段階における合理的配慮等の理解を深めたほか、学内施設の課題把握と障害者への理解を深める一助として学生ボランティアによる「バリアフリー調査セミナー」を開催している。さらに、バリアフリーマップを作成し、学外へも積極的に情報を発信している。
- 大規模災害等により、独自で十分な応急措置及び教育研究活動等の継続・復旧が困難な場合に、迅速かつ的確に被災大学に対し、物資の提供や教職員等の派遣等、緊急支援を実施することを目的として、近畿地区の13国立大学法人で「大規模災害等発生時における近畿地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定書」を締結している。

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載9事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

**II. 教育研究等の質の向上の状況**

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 他大学等学外研究機関との共同研究及び研究連携推進のため、「観光学部特別研究員」制度を創設し、プロジェクト（共同研究等）への参加招へいした「客員フェロー」、観光学部を拠点として独自の研究を行う「研究員」の2つのカテゴリーを設け、観光学部専任教員からの推薦をもって、選考の上、いずれかの称号を付与しているほか（平成25年度末現在で、客員フェロー5名、研究員3名）、関西地区を中心とした観光高等教育に関わる大学等が連携して教育活動・研究の交流を図るとともに情報の交換を行い、社会貢献に寄与することにより観光高等教育の発展に資するため、「関西観光教育コンソーシアム」を設立し、本コンソーシアム主催で平成25年度教育事例発表会を開催している。
- 学生目線でのキャリア支援や学外との窓口機能の改善のため、各学部のキャリア支援組織を統合し「キャリアセンター」を設置したことにより、教職員の交流と情報共有が進み、キャリア支援の効率化も向上している。
- 「紀伊半島における防災・減災に関する和歌山大学の方針作成のための有識者会議」を設置し、今後の教育研究活動に関する提言を受け、「国土交通省近畿地方整備局との連携・協力に関する協定」を締結し、紀伊半島における防災・減災及び復旧・復興に関する教育研究活動を積極的に推進している。